

対=対象 定=定員、定数 料=料金、費用 ※料金について記載のない催しは入場無料(参加無料) 開=開所時間 休=休所日 申=申し込み 問=問い合わせ
 共通=共通の内容 手=手話通訳 要=要約筆記 担=市の担当課 F=FAX ネット=ネット窓口(電子申請)…インターネットで申し込みができます 北九州市 ネット窓口 検索

シニアのための スマートフォン体験教室

8月30日(火)13～15時、生涯学習総合センター(小倉北区大門一丁目)で。対就業を希望しているおおむね60歳以上。定先着15人。申8月17日から福岡県生涯現役チャレンジセンター北九州オフィス ☎513・8188へ。



介護ロボットマスター育成 講習「移乗支援機器」

介護者の身体的負担を軽減する介護ロボットについて、非装着型の移乗支援機器の特徴や活用の仕方を学びます。9月1日(木)14～16時、総合保健福祉センター2階(小倉北区馬借一丁目)で。対介護・医療・福祉分野の実務者。定20人。申8月31日までに介護ロボット等導入支援・普及促進センター ☎522・5811へ。ネットも可。担保健福祉局先進的介護システム推進室 ☎582・2712。

初心者向け スマートフォン1日教室

9月5日(月)、12日(月)、26日(月)の14時30分～15時30分、黄金まちや(小倉北区黄金一丁目)で。対60歳以上。定各日4人。料テキスト代300円が必要。申はがき(1人だけ)に基本事項を書いて8月26日までにシルバー人材センター西部出張所(〒806-0021八幡西区黒崎三丁目1-3、☎482・6112)へ。

世界のレシピ～ベトナム編 (オンライン料理講座)

本市在住の外国人が自国の料理「鶏肉のフォー」と「生春巻き」の作り方を紹介します。9月3日(土)10～12時、オンライン(ビデオ会議システム「Zoom」)を使用。定20人。料材料費3000円程度。パソコンやタブレットが必要。申8月15～26日にネット。問北九州国際交流協会 ☎643・5931へ。

難聴者手話教室 「覚えておきたい表現」

9月3日(土)13～15時、ウェルとばた6階(戸畑駅前)で。対難聴者・中途失聴者と関係者。要あり。問北九州市難聴者・中途失聴者協会 ☎883・3113(日も同じ、電話での問は火曜日だけ)へ。担保健福祉局障害福祉企画課 ☎582・2453。

高齢者就業支援センター の講座

仕事探しに役立つ! スマートフォン体験講座 9月6日(火)。定先着15人。

中高年の心と身体の健康管理術 9月11日(日)。定先着20人。

共通13～15時、ウェルとばた8階(戸畑駅前)で。対おおむね50歳以上。申8月17日から高齢者就業支援センター ☎882・5400へ。

生ごみコンポスト アドバイザー養成講座

9月7日(水)・14日(水)・28日(水)・12月7日(水)・21日(水)の講座5回と体験2回(全7回)、戸畑生涯学習センター(戸畑区中本町)などで。対コンポスト化容器の使用経験があり、修了後アドバイザーとして活動できる人。定10人。時間などは問を。申8月15～30日に環境局循環社会推進課 ☎582・2187へ。



講座「木屋瀬 時代の散歩道」

長崎街道に関する講義や街並み見学など。9月9日～10月7日の毎週金曜日(全5回)おおむね10～12時、長崎街道木屋瀬宿記念館(八幡西区木屋瀬三丁目)などで。対18歳以上。定先着50人。申8月9日から同施設 ☎619・1149へ。

福祉用具プラザの講座

①作ってみよう! 福祉用具「簡易筆談帳」 9月9日(金)13時30分～15時、福祉用具プラザ北九州(小倉北区馬借一丁目、総合保健福祉センター1階)で。定5人。

②知って納得! 大人のためのオムツ講座 9月14日(水)13時30分～15時、八幡

西生涯学習総合センター(黒崎駅西側、コムシティ内)で。定10人。

共通申①は8月31日、②は9月7日までに福祉用具プラザ北九州 ☎522・8721へ。聴覚障害者は☎522・8771も可(基本事項と目・要など介助必要の有無を記入)。

周望学舎体験講座

テーマは「日本のアイデンティティ～神社を知る」と「学びと関係を深めるコミュニケーション」。9月10日(土)9時30分～15時、周望学舎で。対過去に周望学舎・穴生学舎に入学したことのない55歳以上。定24人。申はがき(1人だけ)に基本事項と性別を書いて8月26日までに同施設(〒803-0852小倉北区新高田二丁目29-1、☎591・2626)へ。

視覚障害者生活教室「クラフトテープでかごづくり」

レースで縁取りしたかごと、手紙入れを作ります。9月11日(日)・25日(日)(全2回)の10～12時、ウェルとばた6・7階(戸畑駅前)で。対視覚に障害のある人。定先着8人。料材料費1000円。申8月17日から点字図書館 ☎645・1210へ。

アルコール・ギャンブルの問題 で悩む家族のための教室

9月14日(水)・28日(水)、10月12日(水)・26日(水)(全4回)の14～16時、精神保健福祉センター(小倉北区馬借一丁目、総合保健福祉センター5階)で。定先着10人。申8月17日から精神保健福祉センター ☎522・8729へ。

実践起業塾

創業の基礎知識など。9月17日(土)、10月22日(土)の10～16時と9月28日(水)、10月5日(水)・12日(水)の18～21時(全5回)、オンライン(9月17日、10月22日は対面講座)で。対おおむね1年以内の創業予定者や創業して間もない人。定30人。料5000円。申9月9日まで。詳細は中小企業支援センター ☎873・1430へ。

「男女共同参画フォーラム」 市長講演

北橋健治市長が「SDGsを原動力に日本一住みよいまちへ」をテーマに講演します。

8月30日(火)13～14時30分、ムーブ(小倉北区大手町)で。定300人。申電話で8月15～26日に問先へ。

問総務局男女共同参画推進課 ☎582・2405

まちに出没するサル、イノシシにご注意を

近年、サルやイノシシが街中に出没・徘徊することで、さまざまな被害が出ています。危険を避けるために、注意をしましょう。

■出会ってしまった時は、近づかず静かに見守りましょう。

<イノシシの場合>

イノシシを避けて迂回するか、安全な場所で立ち去るまで静かにして動かないようにしましょう。また、「イノシシが出没するおそれのある場所には近づかない」「夜に出歩く時は音や光で人の気配を知らせる」ことも予防につながります。



<サルの場合>

群れからはぐれたハナレザルは、群れを探して移動している場合がほとんどです。立ち去るまで静かに見守りましょう。特に、目を合わさないように注意してください。サルは目を見つめられると挑発されたと思われ威嚇してきます。刺激せずにゆっくり離れましょう。



■食べ物を見せない、与えない

イノシシもサルも、餌を与えて人に慣れてしまうと街中に頻繁に出没するようになります。「犬や猫に与えた餌や家庭菜園などで育てた野菜を放置しない」「ごみ出しの際は、ごみ袋の口をきちんと結ぶ」など餌を与える環境を作らないようにしましょう。

特に、サルの場合は、餌をもらおうとして、レジ袋やかばんなど人の荷物を奪う、人にかみつくなど、狂暴な振る舞いをするようになる場合があります。十分注意しましょう。

サル、イノシシの出没情報やご相談は

問各区役所総務企画課	■若松区	☎761・0039	
■門司区	☎331・0039	■八幡東区	☎661・0039
■小倉北区	☎582・3339	■八幡西区	☎642・0039
■小倉南区	☎951・4111	■戸畑区	☎871・3600

担産業経済局鳥獣被害対策課 ☎582・2269